

平成24年度

病害虫情報(第2号)5月予報

平成24年4月27日
神奈川県農業技術センター所長

【内容】

I 5月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 ……1
 II 防除情報(1) ナシほ場で採取したハダニ類の薬剤感受性について…8
 防除情報(2) 茶のクワシカイラムシの防除適期は5月下旬～6月上旬!! …9
 防除情報(3) 防除指針に掲載した新規剤 ……10
 III 5月の病害虫発生予報の内容とその根拠 ……11
 IV 5月の気象予報 ……13

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
 掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要がある場合は関係機関にご相談ください。

病害虫防除部 TEL 0463-58-0333
 テレホンサービス TEL 0463-58-6612
 インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>

I 5月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし
 [発生・防除時期] ———— 発生時期 ~~~~ 多発時期 ←————→ 防除適期

*** 農薬に関する情報は、平成24年4月25日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。**

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
イ	ばか苗病 いもち病 イソガレシヤウリ	— — —	○ ○ ○	(は種) ←————→ 種子消毒				塗沫処理(30mL/乾燥籾1kg) テクリードCフロアブル [浸種前,1回] 7.5倍 + スミチオン乳剤 [は種前,1回] 100倍 ヘルシード乳剤 [浸種前,1回] 7.5倍 + スミチオン乳剤 [は種前,1回] 100倍 種子浸漬(24時間浸漬) テクリードCフロアブル [浸種前,1回] 200倍 + スミチオン乳剤 [は種前,1回] 1,000倍 ヘルシード乳剤 [浸種前,1回] 200倍 + スミチオン乳剤 [は種前,1回] 1,000倍 等	・イネシソグレンチュウ防除のため、スミチオンを必ず加える。 ・もみ枯細菌病が心配される場合は、テクリードCを使用する。 ・種子消毒で使用した薬剤の廃液は、適正に処理する。
	苗立枯病	—	○	(は種) ←————→ 床土消毒				タチガレエース粉剤 [は種前,1回] 6~8g/箱 + ダコニール粉剤 [は種前,1回] 15~20g/箱 等	・育苗箱土壌に均一に混和する。
ネ	イネズグムシ ヒメトビウソカ (縞葉枯病)	— —	○ ○	(田植時) ←————→ 育苗箱施薬				(育苗箱施薬:散布) グランドオンコル粒剤 [移植3日前~移植当日,1回] 50g/箱 アドマイヤーCR箱粒剤 [は種時(覆土前)~移植当日,1回] 50g/箱 アドマイヤー箱粒剤 [移植2日前~移植当日,1回] 50~80g/箱 プリンス粒剤 [は種時(覆土前)~移植当日,1回] 50g/箱 等	・ツマグロヨコバイの発生の多い地域では、アドマイヤーCR、アドマイヤーかグランドオンコルを使用する。 ・ニカメイチュウおよびイネツトムシ対策にはグランドオンコルかプリンスを使用する。 ・白葉枯病の発生が懸念されるほ場では、Dr.オリゼプリンス粒剤6(育苗箱施薬,緑化期~移植当日,50g/箱)を使用するとよい。

病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
カンキ	生育	遅		《開花期》				<生育調査：足柄地区事務所根府川分室・普通温州>	
	灰色かび病 そうか病	— やや多	○ ○					(予・治)ストロビードライフフロアブル [14日, 3回] 2,000~3,000倍 (予・治)ナリアWDG みかん:[45日, 3回]、 みかんを除くかんきつ:[14日, 3回] 2,000倍 (予)フロンサイドSC [30日, 1回] 2,000~2,500倍 等	・満開～落花期に散布する。 ・ストロビー、ナリア、フロンサイド(2,000倍)は黒点病にも適用あり。 ・そうか病多発園ではフロンサイドを使用する。 ・フロンサイドは、かぶれに注意する。
	かいよう病 (中晩柑類)	並	○	←→	←→	←→	←→	(予)コサイドDF [-, -] 2,000倍+クレフノン200倍 (予)ICボルドー412 [-, -] 50倍 等	・前年多発園では、必ず防除する。 ・ICボルドーは花卉が落ちる時期以降に使う。
	ミカソハダニ	並	○	←→	←→	←→	~~~~~	マシン油乳剤(97%、98%) 等	*マシン油乳剤は商品によって使用基準が異なるので、ラベルの記載に従うこと。
ナシ	生育	やや遅		《新梢伸長期》				<生育調査：果樹花き研究部・豊水>	
	黒星病	やや少	○	←→	←→	←→	←→	(予・治)インダーフロアブル [7日, 3回] 5,000~12,000倍 (予・治)ベルクートフロアブル[14日, 5回] 1,500倍 (予)キノドーフロアブル [3日, 9回] 1,000倍 等	・赤星病多発(または4月下旬に治療剤を散布していない)園では、5月早々にインダー(8,000~12,000倍)またはルビゲン水和剤([21日, 3回] 3,000~4,000倍)を散布する。
	アブラムシ類	—	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍 ハチハチフロアブル [14日, 2回] アブラムシ類：2,000倍 等	・アルバリン又はスタークルはシンクイムシ類、コナカイガラムシ類にも適用あり。 ・ハチハチはニセシバダニ・チャノキアザミマ、シクイムシ類(1,000倍)にも適用あり。
	ニセシバダニ	—	○				←→	サンマイト水和剤[14日, 2回] 1,000~1,500倍 等	
カキ	生育	やや遅		《開花期》				<生育調査：果樹花き研究部・富有>	
	落葉病	やや多	○		←→	←→	←→	(予)エムダイファー水和剤 [45日, 2回] 400~650倍 (予・治)ベルクート水和剤[14日, 3回] 1,000~1,500倍 等	・5月中旬～6月に雨が多いと発生が多くなる。 ・ベルクートは西村早生には使用しない。 ・うどんこ病の発生園では、ベルクートを使用する。
キ	カキカアザミマ	—	○	幼虫				モスピラン水溶剤 [前日, 3回] 2,000~4,000倍 等	・モスピランはカイガラムシ類にも適用あり。

病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
チヤ	生育	やや遅		《摘採期》				<生育調査:北相地区事務所研究課・やぶきた>	
	チャノホリカ ハマキムシ類	やや多 並	○					エスマルクDF [発生初期但し7日,-] チャノホリカ、チャハマキ、チャノコカモンハマキ:1,000倍等	
	カンザワハダニ	並	○			~~~~~	~~~~~	コテツフロアブル [7日,2回] 2,000倍等	・コテツはチャノミドリヒメコバエ、チャノコカモンハマキにも適用あり。
	チャノイロアザミウマ	やや多	○			~~~~~	~~~~~		
ヤ	ツマグロアザミウマ	やや少	○			~~~~~	~~~~~	キラップフロアブル [7日,1回] 2,000倍等	・キラップはチャノイロアザミウマ、チャノホリカにも適用あり。
促成	灰色かび病	やや少	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)ボトキラー水和剤 [発病前~発病初期, -:ダクト内投入] 10~15g/10a/日 (予・治)カンタスドライフロアブル [前日, 3回] 1,000~1,500倍 (予・治)ロブラール水和剤 [前日, 3回] 1,000~1,500倍等	・発病部と枯葉を取り除き、施設の外に持ち出し、適正に処分する。 ・カンタスは葉かび病、菌核病にも適用あり。 ・マルハナバチへの影響(*) ボトキラー:無、カンタス:無 ロブラール:0日 (*)メーカー技術資料及び病害虫雑草防除指導指針より抜粋。以下同様。
	コナジラミ類 (オンシツコナジラミ) (タバココナジラミ) (TYLCSV)	やや少 並	○ ○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300倍 ハチハチ乳剤 [前日, 2回] 1,000~2,000倍 モスピラン水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍等	・収穫終了とともに施設を密閉、蒸し込みでコナジラミ類を死滅させること。 ・サンクリスタルはアブラムシ類・トマトサビダニ、ハダニ類・うどんこ病(300~600倍)にも適用あり。 ・ハチハチはミカンキイロアザミウマ・アブラムシ類・トマトサビダニ、ハモグリバエ類・うどんこ病(1,000倍)にも適用あり。 ・モスピランはアブラムシ類、アザミウマ類にも適用あり。 ・マルハナバチへの影響 サンクリスタル:無、ハチハチ:6日 モスピラン:1日

病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
促成	べと病	やや少	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予・治)ランマンフロアブル [前日, 4回] 1,000~2,000倍 (予・治)ホライズンドライフフロアブル [前日, 3回] 2,500倍 (予・治)アリエッティ水和剤 [前日, 3回] 400~800倍 等	・ホライズンはシモキサニルとファモキサドンの混合剤。ベトファイター等と同一成分を含む。
	うどんこ病	並	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)インプレッション水和剤 [発病前~発病初期, -] 500~1,000倍 (予・治)アフエットフロアブル [前日, 3回] 2,000倍 (予・治)パンチョTF顆粒水和剤 [前日, 2回] 2,000倍 等	・インプレッションは灰色かび病にも適用あり。 ・アフエットは灰色かび病、菌核病にも適用あり。 ・パンチョTFはシフルフェナミドとトリフルミズールの混合剤。トリフミン等と同一成分を含む。
収穫	ミナミキイロアザミウマ (MYSV)	並	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	カスケード乳剤 [前日, 4回] ミナミキイロアザミウマ: 2,000~4,000倍 ベストガード水溶剤 [前日, 3回] 1,000~2,000倍 コテツフロアブル [前日, 3回] ミナミキイロアザミウマ: 2,000倍 モスピラン水溶剤 [前日, 3回] ミナミキイロアザミウマ: 2,000~4,000倍 コナジラミ類: 2,000倍 等	・収穫終了とともに施設を密閉、蒸し込みで死滅させること。 ・カスケード(2,000倍)はトマトハモグリバエにも適用あり。 ・ベストガードはアブラムシ類にも適用あり。 ・コテツはミカンキイロアザミウマ、ハダニ類にも適用あり。 ・モスピランはアブラムシ類(2,000~4,000倍)、ミカンキイロアザミウマ(2,000倍)にも適用あり。
	コナジラミ類 (CCYV)	-	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~		
露地トマト	コナジラミ類 (TYLCV)	-	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	【定植時：粒剤施用】 モスピラン粒剤 [定植時, 1回: 植穴土壌混和] コナジラミ類、アブラムシ類: 1g/株 アドマイヤー1粒剤 [定植時, 1回: 植穴土壌混和] コナジラミ類、アブラムシ類: 1~2g/株	・ウイルス病の発病株は抜き取り、土中に埋めるなど適切に処分する。 ・モスピランはトマトハモグリバエにも適用あり。
	アブラムシ類 (CMV)	やや少	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~		・サンマイト(1,500倍)はトマトサビダニにも適用あり。
	アザミウマ類 (TSWV)	並	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	【定植後：散布】 ベストガード水溶剤 [前日, 3回] コナジラミ類、アブラムシ類: 1,000~2,000倍 アザミウマ類: 1,000倍 サンマイトフロアブル [前日, 2回] コナジラミ類: 1,000~1,500倍 サンクリスタル乳剤 [前日, -] コナジラミ類、アブラムシ類: 300倍 等	・サンクリスタルはトマトサビダニ、うどんこ病(300~600倍)にも適用あり。

病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
露地 トマト	疫病	—	○		←→		←→	(予)Zボルドー [—, —] 400~600倍 (予)ダコニール1000 [前日, 4回] 1,000倍 等	・降雨により土壌中の病原菌が土粒とともに はね上がって発病するので、株元にマルチを 敷く。 ・Zボルドー(500倍)はすすかび病にも適用 あり。 ・ダコニールは葉かび病、うどんこ病、灰色か び病、すすかび病にも適用あり。
	べと病	—	○				←→	(予)ダコニール1000 [前日, 8回] 1,000倍 (予)ピスダイセン水和剤 [前日, 2回] 600~800倍 等	・土のはね返りを防ぐためマルチをする。草 勢の衰えは発生を助長させる。 ・ピスダイセン(600倍)は斑点細菌病にも適 用あり。
地	うどんこ病	—	○				←→	(予)インプレッション水和剤 [発病前~発病初期, —] 500~1,000倍 (予)フルピカフロアブル[前日, 4回]2,000~3,000倍 (予)ダコニール1000 [前日, 8回] 1,000倍 等	・窒素肥料の多用は発生を助長する。
	アブラムシ類 (CMV) アザミウマ類 (MYSV) コナジラミ類 (CCYV)	やや少 並 —	○ ○ ○		↘ 媒介 ウイルス病			【定植時：粒剤施用】 モスピラン粒剤 [定植時, 1回：株元散布] アブラムシ類：0.5~1g/株 アドマイヤー1粒剤 [定植時, 1回] アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ： 植穴又は株元土壌混和 1~2g/株 コナジラミ類：植穴土壌混和 2g/株 【定植後：散布】 ベストガード水溶剤 [前日, 3回] アブラムシ類、コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ ：1,000~2,000倍 コルト顆粒水和剤 [前日, 3回] アブラムシ類、コナジラミ類：4,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [前日, 2回] アザミウマ類：5,000倍 等	・アザミウマ類が黄化えそ病 (MYSV) を 媒介するので、防除を徹底する。 ・スピノエースはハモグリバエ類にも適用あり。
ウ リ									

病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
ナス	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	やや少 並 —	○ ○ ○		(定植) ← (粒剤施用) →			【定植時：粒剤施用】 モスピラン粒剤 [定植時, 1回：植穴土壌混和] アブラムシ類:0.5～1g/株 ミナミキイロアザミウマ:1g/株 アドマイヤー1粒剤 [定植時, 1回：植穴又は株元土壌混和] アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ：1～2g/株 【定植後：散布】 ベストガード水溶剤 [前日, 3回] アブラムシ類、コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ : 1,000～2,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [前日, 2回] アザミウマ類：2,500～5,000倍 ウララDF [前日, 3回] コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ：2,000倍 アブラムシ類：2,000～4,000倍 等	・スピノエース(5,000倍)はオオタバコガにも適用あり。
	さび病	—	○	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	(予)シマンダイセン水和剤 (第22345号) [14日, 3回] 600倍 (予)ペンコゼブ水和剤 (第18852、22346、22432号) [14日, 3回] 600倍 等	・シマンダイセン、ペンコゼブはマンゼブ剤、総使用回数に注意。べと病、黒斑病にも適用あり。
ネギ	ネギ アザミウマ	—	○	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	【定植前：灌注】 アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤 [定植前日～定植時, 1回：セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊当たり0.5L] 50倍 【定植時：粒剤施用】 ダントツ粒剤 (露地栽培) [植付時, 1回：植溝処理] 6kg 【生育期：散布】 ダントツ水溶剤 [3日, 4回] 2,000～4,000倍 アファームエクセラ顆粒水和剤 [7日, 3回] 1,000倍 ボタニガードES [発生初期, —] 500～1,000倍 等	・ダントツ、アファームエクセラはネギハモグリバエにも適用あり。
春キャベツ	コナガ	少	△	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	~~~~~ ←~~~~~→	アファーム乳剤 [前日, 3回] 1,000～2,000倍 フェニックス顆粒水和剤 [前日, 3回] 2,000～4,000倍 等	

病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				5月			6月		
				上	中	下	上		
三浦半島地区野菜									
スイカ	つる枯病	—	○	←	←	←	←	(予)ダコニール1000 [3日, 5回] つる枯病: 700~1,000倍、炭疽病: 700倍 (予)シマンダイセン又はペンコゼブ水和剤 [7日, 7回] 400~600倍 (予・治)ベルコート水和剤 [前日, 4回] 1,000倍 等	・降雨による土のはね返りが感染・発病の誘因となる。 ・ベルコートはうどんこ病、菌核病にも適用あり。
	炭疽病	—	○	←	←	←	←		
カボチャ	アブラムシ類	—	○	←	←	←	←	モスピラン水溶剤 [3日, 3回] 2,000~4,000倍 ハチハチフロアブル [前日, 2回] 1,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [前日, 2回] ミナミキイロアザミウマ: 5,000倍 等	・モスピラン(2,000倍)はコナジラミ類にも適用あり。 ・ハチハチはうどんこ病にも適用あり。
	アザミウマ類	—	○	←	←	←	←		
カボチャ	ハダニ類	—	○	←	←	←	←	ダニサラバフロアブル [前日, 2回] 1,000倍 コロマイト乳剤 [7日, 2回] 1,000倍 等	
	疫病	—	○	←	←	←	←		
メロン	うどんこ病	—	○	←	←	←	←	(予)シマンダイセン又はペンコゼブ水和剤 [30日, 2回] 600倍 (予・治)リドミル銅水和剤 [14日, 3回] 800倍 等	・ほ場の排水対策など入念に行なう。 ・シマンダイセンはべと病、つる枯病、炭疽病にも適用あり。 ・ペンコゼブはべと病にも適用あり。
	つる枯病	—	○	←	←	←	←		
メロン	べと病	—	○	←	←	←	←	(予)フルピカフロアブル [前日, 4回] 2,000~3,000倍 (予・治)ベルコート水和剤 [7日, 4回] 1,000~2,000倍 等	・べと病は、降雨後に病原菌の活動が活発になる。 ・シマンダイセンは炭疽病にも適用あり。
	うどんこ病	—	○	←	←	←	←		
メロン	うどんこ病	—	○	←	←	←	←	(予)フルピカフロアブル [前日, 4回] 2,000~3,000倍 (予)ダコニール1000 [3日, 5回] 700倍 等	
	アブラムシ類	—	○	←	←	←	←		
メロン	コナジラミ類	—	○	←	←	←	←	ベストガード水溶剤 [7日, 3回] 1,000~2,000倍 コロマイト乳剤 [前日, 2回] コナジラミ類: 1,000倍 ウララDF [前日, 2回] アブラムシ類: 2,000~4,000倍 コナジラミ類: 2,000倍 等	・タバココナジラミはメロンなどに退緑黄化ウイルスを媒介する。 ・ベストガードはミナミキイロアザミウマにも適用あり。
	アブラムシ類	—	○	←	←	←	←		
メロン	ハダニ類	—	○	←	←	←	←	ダニサラバフロアブル [前日, 2回] 1,000倍 コロマイト乳剤 [前日, 2回] 1,000倍 等	・コロマイトはトマトハモグリバエにも適用あり。
	アブラムシ類	—	○	←	←	←	←		

Ⅱ 防除情報 (1) ナシほ場で採取したハダニ類の薬剤感受性について

～同一薬剤の使用は年1回の使用にとどめ、
薬剤を長く大事に使いましょう～

インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>

テレフォンサービス 0463-58-6612

表1 ハダニ類雌成虫に対する各種薬剤の検定結果(薬剤処理72時間後に調査)

供試薬剤*1) (倍率)	カンザワハダニ		ナミハダニ				
	秦野市	藤沢市	横浜市	川崎市	相模原市	厚木市	伊勢原市
	鶴巻	遠藤	小山	黒川	当麻	愛甲	串橋
コテツFL(x2000)	◎	◎	×	×	△	○	○
コロマイトWP(x2000)	◎	◎	○	△	△	△	○
カネマイトFL(x1000)	◎	◎	◎	○	◎	○	◎
マイトコーネFL(x1000)	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
ダニサラバFL(x1000)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
スターマイトFL(x2000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

*1) WP:水和剤,FL:フロアブル

◎:効果は高い(補正死虫率96%以上)、○:効果はある(補正死虫率85%以上96%未満)

△:効果は認められるがその程度は低い(補正死虫率70%以上85%未満)、×:効果は低い(補正死虫率70%未満)

表2 ハダニ類卵に対する各種薬剤の検定結果(薬剤処理7日後に調査)

供試薬剤*1) (倍率)	カンザワハダニ		ナミハダニ				
	秦野市	藤沢市	横浜市	川崎市	相模原市	厚木市	伊勢原市
	鶴巻	遠藤	小山	黒川	当麻	愛甲	串橋
コテツFL(x2000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
コロマイトWP(x2000)	◎	◎	◎ ^L	◎ ^L	◎	◎	◎
カネマイトFL(x1000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
マイトコーネFL(x1000)	◎	◎	◎	◎ ^L	○	○	○
ダニサラバFL(x1000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
スターマイトFL(x2000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
バロックFL(x2000)	◎	◎	× ^L	× ^L	◎	× ^L	× ^L
ダニゲッターFL(x2000)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

*1) WP:水和剤,FL:フロアブル

◎:効果は高い(補正殺卵率96%以上)、○:効果はある(補正殺卵率85%以上96%未満)

△:殺卵効果の程度は低い(補正殺卵率70%以上85%未満)、×:効果は低い(補正殺卵率70%未満)

L:孵化個体の一部が第1若虫以降まで生存

平成23年度のハダニ類薬剤感受性試験の結果を示しました(表1、2)。ハダニの種類や生育ステージおよび地域により、防除効果が低下している可能性がある薬剤があります。

ハダニ類は、現在効果が高い薬剤も、年に複数回使用すれば、薬剤感受性が低下しやすいと考えられます。

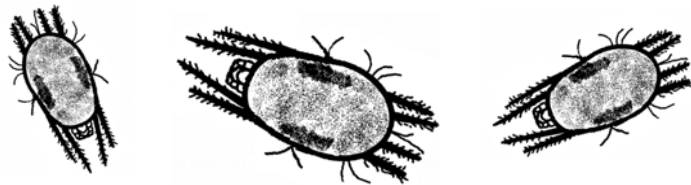
ハダニ類の薬剤感受性低下をさせないためには、

☆同一薬剤の使用は年1回にとどめる。

☆同一系統の薬剤の連用を避け、ローテーション散布を心掛ける。

物理的作用でハダニ類を防除する薬剤(粘着くん水和剤など)を用いることも効果的です。

上記のことを心掛け、効果の高い薬剤を長持ちさせるよう努めることが、長期的には個々の農業経営や産地にとってプラスになります。



病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

II 防除情報(2) 茶のクワシロカイガラムシの防除適期は5月下旬～6月上旬！！

ふ化最盛予測日の2～5日後に防除を行いましょう。

インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>
 テレホンサービス 0463-58-6612

茶の難防除害虫クワシロカイガラムシは、雌の産卵数が多く、増殖率が高いため、適期防除ができないと1世代で多発する恐れがあります。また、防除適期が幼虫ふ化最盛期後の数日に限られるため、適切な発生予測に基づいた防除を行うことが重要です。

今年のおふ化最盛日の予測は、表1、図1のとおりです。防除適期は、ふ化最盛日の2日後から5日後までの期間ですので、最寄りの基準地点と標高の差(表2)を参考に、防除を行うようにしてください。

表1 各地のクワシロカイガラムシの第1世代ふ化最盛日の予測と防除適期の目安

予測基準地点名	予測基準地点の概要	標高(m)	ふ化最盛予測日*	防除適期の目安
① 相模原市緑区寸沢嵐	県農業技術C北相地区事務所	170	5/29	5/31 ~ 6/3
② 厚木市七沢	県自然環境保全C	110	5/27	5/29 ~ 6/1
③ 平塚市上吉沢	県農業技術C代表調査地点	80	5/26	5/28 ~ 5/31
④ 山北町皆瀬川	県大野山乳牛育成牧場	550	6/14	6/16 ~ 6/19
⑤ 山北町川西	茶園	350	6/6	6/8 ~ 6/11
⑥ 南足柄市塚原	茶園	60	5/24	5/26 ~ 5/29
⑦ 小田原市扇町	アメダス	14	5/23	5/25 ~ 5/28
⑧ 小田原市根府川	県農業技術C根府川分室	130	5/28	5/30 ~ 6/2

※：ふ化時期に降雨が続く場合は、実際のふ化最盛日が予測日より遅れることがあります。

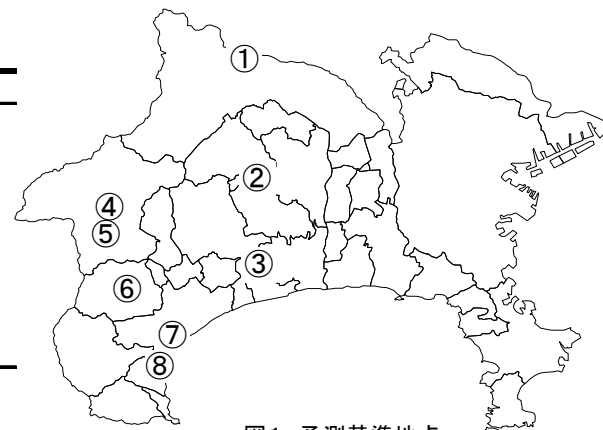


図1 予測基準地点

表2 温度計測地点所在地からの標高差と第1世代ふ化最盛予測日との関係(おおよそのイメージ)

予測基準地点からの標高差(m)	-100	-80	-60	-40	-20	0	+20	+40	+60	+80	+100
相模原市緑区寸沢嵐	5/25	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2
厚木市七沢	5/23	5/24	5/25	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/30	5/31
平塚市上吉沢	—	5/23	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/29	5/30
山北町皆瀬川	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	—	—	—	—	—
山北町川西	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/10
南足柄市塚原	—	—	5/22	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29
小田原市扇町	—	—	—	—	—	5/23	5/24	5/25	5/26	5/26	5/27
小田原市根府川	5/24	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/29	5/30	5/31	6/1
<参考>補正日数の目安(日)	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

[主な防除薬剤]

薬剤名	希釈倍率	使用時期及び回数
アブロード水和剤	1000倍	14日, 2回
アブロードエースフロアブル	1000倍	21日, 1回
スプラサイド乳剤40	1000~1500倍	14日, 1回
ダースバン乳剤40	1000倍	14日, 2回
カルボス乳剤	1500倍	21日, 1回

II 防除情報 (3) 防除指針に掲載した新規剤

インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>
 テレフォンサービス 0463-58-6612

平成24年版病害虫雑草防除指導指針に新たに採択した農薬は、殺虫剤4剤、殺菌剤8剤、水稲箱粒剤2剤、除草剤9剤、植物調整剤1剤です。そのうち、6剤の概要を紹介します。なお、適用作物の太字は、防除指針に新規剤が採択された作物です。

殺虫剤

スピネトラム剤(殺虫剤)

- 系 統：スピノシン
- 特 徴：チョウ目、アザミウマ目、ハエ目害虫に対して高い効果を発揮する。

チョウ目害虫に対して、速やかな摂食阻害活性を發揮する。

ハマキムシ類の各ステージ(卵・幼虫・成虫)に対し高い効果を示すので、散布幅が広い。

ディアナSC

- 有効成分：スピネトラム 11.7%
- 魚毒性：B類
- 適用作物：**トマト**、**ミニトマト**
なす、**いちご**
ねぎ、**キャベツ**、**レタス**
非結球レタス、**茶**
花き類・観葉植物(きくを除く)
きく

ディアナWDG

- 有効成分：スピネトラム 25.0%
- 魚毒性：B類
- 適用作物：**なし**、**もも**、**りんご**

殺菌剤

アミスブルロム剤(殺菌剤)

- 系 統：スルファモイルトリア
- 特 徴：根こぶ病の休眠胞子を眠らせたままにせず、放出された遊走子を直接殺菌する。

土壌中の病原菌密度を低減、畑の土をきれいにする。

おとり作物との併用が可能。

オラクル顆粒水和剤

- 有効成分：アミスブルロム 50.0%
- 魚毒性：C類
- 適用作物：**いちご**、**フロッキーキャベツ**、**はくさい**
ばれいしょ、**てんさい**
たばこ、**ぶどう**
みょうが(花穂)
みょうが(茎葉)
セントポーリア

オラクル粉剤

- 有効成分：アミスブルロム 0.5%
- 魚毒性：C類
- 適用作物：**フロッキー**、**キャベツ**
はくさい
非結球あぶらな科葉菜類

水稲箱粒剤

アドマイヤーCR箱粒剤

- 有効成分：イミダクロプリド 1.95%
- 魚毒性：A類
- 系 統：ネオニコチノイド
- 特 徴：新製法「CR(コントロール・リリース)」により、は種時から移植当日まで使用可能。

イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類に対し高い防除効果を示す。

人畜、水産動物に対しても高い安全性を示す。

ツインターポフェルテラ箱粒剤

- 有効成分：クロチアニジン 1.5%
クロラントラニリプロール 0.75%
イソチアニル 2.0%
- 魚毒性：B類
- 系 統：ネオニコチノイド+ベンゼンジカルボキサミド+抵抗性誘導
- 特 徴：いもち病防除に、新しい有効成分「イソチアニル」含有。

新規成分「クロラントラニリプロール」と高活性の「クロチアニジン」で効率的な害虫防除が可能。

病害虫情報 (H24・No. 2) 神奈川県農業技術センター

Ⅲ 5月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠	作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比			程度	平年比	
カンキツ そうか病	少	やや多	1) 前年10月の発病度は、平年よりやや多かった。(+) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)	チャ チャノイロザミ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生は平年より多い。(+) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
		並	1) 巡回調査では、越冬病斑は平年並。(±) 2) 県予察ほ(根府川)の調査では、前年葉の越冬病斑は春枝では平年よりやや少なく(-)、夏秋枝では平年並(±)。 3) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)	カンザワハダニ		並	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
		並	1) 巡回調査では、発生は平年より少ない。(-) 2) 県予察ほでは、発生は平年並。(±) 3) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)	ハマキムシ類		並	1) 巡回調査では、発生は平年より多い。(+) 2) 予察灯(山北)の誘殺数は、平年並。(±) 3) フェロモントラップの誘殺数は、山北では平年より少ないが(-)、県予察ほ(寸沢嵐)では平年並(±)。 4) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
ナシ 黒星病	少	やや少	1) 巡回調査では、花そう基部における発生は平年よりやや少ない。(-) 2) 県予察ほ調査では、発病は見られず発生は平年並。(±) 3) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)	ツマグロカサミ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年より少ない。(-) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
		やや多	1) チャバネアオカメムシの越冬数は、平年より多い。(+) 2) 予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。(-) 3) 県予察ほ(根府川)の予察灯及びフェロモントラップの誘殺数は、平年よりやや少ない。(-) 4) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)	チャノホソガ		やや多	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(-) 2) 予察灯(山北)の誘殺数は、平年より多い。(+) 3) フェロモントラップの誘殺数は、山北では平年より多いが(+)、県予察ほ(寸沢嵐)では平年並(±)。 4) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
		少	1) 昨年10月の発病は平年よりやや多く、越冬菌量も平年よりやや多いと予想される。(+) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)	促成トマト 灰色かび病		中	やや少
カキ 落葉病	少	やや多		タバコナジミ	少	並	1) 巡回調査では、タバコナジミの発生は平年よりやや少ない(-)、オシツコナジミの発生は見られず平年より少ない(-)。 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
				オシツコナジミ		やや少	

病害虫情報 (H24・No. 2) 神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
促成キュウリ べと病	中	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年より少ない。(－) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
うどんこ病	中	並	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
ミミキイアザミウマ	少	並	1) 巡回調査では、発生は見られず平年並。(±) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
露地 トマト・ナス・キュウリ アブラムシ類	－	やや少	1) 巡回調査では、ジャガイモでの発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 県予察ほ(平塚)の黄色水盤への有翅アブラムシの飛来数は平年よりやや少ない。(－) 3) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
アザミウマ類	－	並	1) 野外に設置した青色粘着トラップ調査では、発生量は平年並。(±) 2) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)
春キャベツ コナガ	少	少	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) フェロモントラップ調査では、三浦、伊勢原とも発生量は平年より少ない。(－) 3) 県予察ほ(平塚)のフェロモントラップ調査では、発生量は平年より少ない。(－) 4) 気温、降水量とも平年並の予報。(±)

(注)「発生量」の表示… 程度：甚>多>中>少>無
平年比：多>やや多>並>やや少>少
「予報の根拠」…… (+)：多発要因 (－)：少発要因

病害虫情報

(H24・No. 2)

神奈川県農業技術センター

Ⅳ 5月の気象予報 (気象庁 地球環境・海洋部 4月25日発表3か月予報)

〈天 気〉

天気は数日の周期で変わるとでしょう。

〈要素別予報〉

	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気 温	30%	40%	30%
降水量	30%	40%	30%

〈気象の経過〉 [観測地 横浜地方気象台]

4月第5半旬まで

平均気温は1, 3半旬は平年並、2, 4～5半旬は平年より低かった。

降水量は1, 3, 5半旬で平年より多く、2, 4半旬は平年より少なかった。

日照時間は1～2半旬は平年より多く、3半旬は平年並、4～5半旬は平年より少なかった。

*桜の開花日：4月2日(平年3月26日)、満開日：4月9日(平年4月3日)

